

斎藤 拓朗

63

(外科学講座教授)



膵臓(すいぞう)はおなかの上の方、胃の後ろ側にある、長さ20センチほどの左右に細長い臓器です。膵臓の中は、膵管という細長い管が通っていて、これが網の目のように膵臓内の細胞へと分かれます。膵臓の働きには、食べ物の中のタンパク質を溶かす「膵液」という消化液を作って膵管から

十二指腸に出す「外分泌機能」と、血糖や消化液の量を調節するホルモン(インスリン、グルカゴン、ガストリンなど)を作って血液に出す「内分泌機能」があります。膵臓の病気には膵炎、

膵臓癌(がん)、糖尿病などがあります。膵炎は、アルコールや胆石などで膵臓が炎症を起こし、みぞおちや背中に激痛が生じる「急性膵炎」と、急性膵炎が繰り返されて膵臓が線維化を生じて働かなくなり、糖尿病が悪化し消化ができなくなる症

り、その多くは症状に乏しく良形で経過観察となります。しかし一部の膵臓癌(膵管内乳頭腫瘍、IPMN)では、経過中に膵臓癌が発生する可能性が高いことが最近の研究で明らかになりました。膵臓癌が認められた場合は定期的な検査を受

り、治療成績の改善には早期診断が必要と考えられます。膵臓を早期に見つけるために①黄疸②おうたん③原因不明の上腹部痛・背部痛④糖尿病の初発あるいは悪化⑤急性・慢性膵炎の既往⑥血液検査で肝酵素や膵酵素あるいは

## 膵臓の病 早期に治療を

状をきたす「慢性膵炎」に分けられます。

けましよう。

膵臓の腫瘍には、膵臓(のう)胞性腫瘍や膵癌があります。嚢胞とは液体がたまっている袋状の物です。膵嚢胞の原因にはさまざまな病気があ

また、悪性度の高い膵臓癌は、残念ながら現在でも治療が難しく進行も早い病気です。しかし、1センチ以下の膵臓に対する手術後の5年生存率は80・4%と報告されてお

腫瘍マーカーの上昇、などの項目のうち一つでも当てはまる方は、かかりつけの医療機関を受診して超音波検査などを受け、必要に応じて精密検査を受けることをお勧めします。